



第33回全国街路事業コンクール

会長賞

路面電車南北接続事業

富山市

事業概要

本事業は、富山駅の新幹線駅整備及び在来線の高架化に伴い、駅の南側で運行する市内電車と、北側で運行する富山港線の両路面電車を駅高架下で接続した事業である。南北の接続により、交通結節点の機能強化が図られたほか、富山駅を中心とした全長約15kmのLRTネットワークが形成され、コンパクト+ネットワークの都市機能を担う公共交通機関の利便性の向上に寄与した。

表彰理由

高架下を活用して駅南北の路面電車を接続し、路面電車と新幹線・在来線の連続性を高めるなど、富山市の進めるコンパクトなまちづくりの一環として、交通結節機能を抜本的に強化した点が高く評価された。新幹線改札口前に路面電車の停留場を設置するなど、乗り換え利便性の向上により、路面電車だけでなく、様々な公共交通の利用者の増加につながっている。また、南北の駅前広場と連携し、デザイン面にも配慮するなど、魅力ある都市景観の形成にも寄与している。地価向上や転入人口の増加など波及効果も幅広く、中心市街地の活性化を計画的に実現した優れた事業である。

事業延長：約250m
事業費：約40億円

幅員：15.5m
事業期間：平成23年度～令和元年度